

漫湖水鳥・湿地センター

たより

2005年2月20日発行

No. 20



はじめての探鳥会 1.11

～まず、図鑑を使って鳥を見てみよう！～
講師：仲本 興明先生(沖縄野鳥の会)



このカモは、どれか
な・・・？首が白くて、
茶色くて・・・。



天気が心配でしたが、太陽の日が差して観察日和となりました。25名の参加者は、双眼鏡を使って漫湖に来ている鳥をゆっくり観察しました。「漫湖にこんなに鳥がいるんだ！」という声も。

ボランティア講習会12.2

～耳をすませて鳥との会話を楽しむ～
講師：宮城 国太郎先生(沖縄野鳥の会)

えっと・・・私が気になったのはダイサギです。私はきれいでしょ？ってナルシストみたい。



第2回のボランティア講習会を行いました。鳥の声を聞き、姿をじっくり観察し、みんなに自分の気になった鳥や行動を教えあい、最後にその鳥になって鳥の気持ちを発表しました。



平成 16 年度 環境省自然解説指導者研修会 報告

2005年1月11日～14日 山梨県北巨摩郡高根町清里 キープ自然学校にて

「ボランティアコーディネーターコースに参加して」

米谷 保彦(漫湖水鳥・湿地センター職員)

清里の駅を降りると、そこは雪国だった。しかも吹雪いていた…寒すぎる！ しかし、そんな寒さも吹き飛ばすような熱い研修会でした。今回の研修では、環境省職員はじめ全国様々な自然観察施設からスタッフが集まり、ボランティア制度の活用について学び、話し合いました。

研修内容

- 1 日目：自然解説の理解／自然活動の現場におけるボランティアコーディネーターとは／ボランティアコーディネーターの役割とは／フリーディスカッション
- 2 日目：体験学習法について／自然解説体験（野外実習）／ボランティア育成研修計画作りのオリエンテーション
- 3 日目：ボランティア育成研修計画作りの実習と発表
- 4 日目：まとめと質疑応答



「ボランティアとは何か？」「そしてそれをコーディネートするとはどういうことか？」など、今まで私自身もあいまいだったことが多く、とても勉強になりました。また、200 名ほどのボランティアがいる施設や、これから募集する施設など、参加者それぞれ抱える問題は様々で、夜遅くまで、活発な議論が交わされました。

今このセンターでもボランティア活動が始まったばかりです。漫湖でできることは何か？メンバーとともに考え、作り上げていきたいと思います。



第 10 回 日米環境教育(エコツーリズム)指導者研修会 報告

2005年1月27日～30日 沖縄県国頭村奥

主催：インタープリテーション協会

「環境教育・インタープリテーションにおけるファシリテーションに参加して」

米谷 保彦(漫湖水鳥・湿地センター職員)

アメリカの国立公園レンジャーを歴任した、ジェリー・シモダ氏とジョン・タイラー氏を招いての合宿研修が、国頭村の奥で行われました。センターからは、ボランティアスタッフ 3 名と一緒に参加しました。

県内外から募集人数を大きく上回る 60 名の参加があり、会場は熱気に包まれました。

インタープリテーションとは、自然解説の手法のこと。いわば自然を人に伝える通訳の役割です。ファシリテーションとは、「促進」「援助」という意味。話し合いや、体験学習の時に、参加者の主体性を引き出し、場を円滑に進める技術です。今回は主に、アメリカの国立公園の研修でも使われるファシリテーションの手法を学びました。

毎晩出される宿題に四苦八苦するグループあり、交流にいそしむ者たちあり。2 日目のガイドウォーク実習は寒さと雨という悪条件の中でしたが、センターボランティアのメンバーも頑張っていました。

「これからの第一歩として…」

大城 将也(ボランティアスタッフ)

今回は、ボランティアスタッフとして始めて宿泊研修に参加させていただきました。期待と不安の中でのスタートとなりました。しかも山に囲まれ、ヤンバルクイナの鳴き声が聞こえる「奥やんばるの里」の素晴らしい場所でしたのですぐにリラックスすることができました。

初日はインタープリテーションについて講義を受けた後、ガイドウォークを計画し、翌日は案内するという宿題が出されました。いきなり初めてのガイドウォークでしたので、その結果は散々でした。それ以降は、ファシリテーション※について講義を受けながら、グループをつくり実際に体験し、様々な方々の意見を聞き、他の方のやり方を見て、たくさんの手法を学ぶことができました。

この研修で多くの方々から刺激を受け、ボランティアとしての実状をさらに見つめ直す機会として非常に役立つものとなりました。そして、これからボランティアスタッフとして漫湖水鳥・湿地センターで、どのように活動していけるかをスタッフ同士で話し合える機会が生まれたと思います。今回の研修に参加できる機会を提供してくださった方々に感謝します。ありがとうございました。



※ファシリテーション・・・「促進」「援助」という意味。話し合いや、体験学習の時に、参加者の主体性を引き出し、場を円滑に進める技術

「研修の収穫」

吉川 尚伸(ボランティアスタッフ)

研修の私の収穫は、「ファシリテーション」を学んだことだ。ファシリテーションでは、メンバーの自発的な参加や自由な発言、客観視、話し合いのプロセスなどが重視される。様々な具体的な演習をしたが、これは使えると実感できた。ファシリテーションによって、日本社会にありがちな「つまらない会議」を「意志決定のプロセスを楽しむこと」に変えられる！と、感じた。

アクションプランとして、私は「ファシリテーションの手法を用い、みんなで漫湖の MAP を作る」という提案をした。多くの人が関わることで、漫湖の何が大事かということを共通確認することができるであろう。さらに、MAP を格子状に区分することにより、位置をより正確に表現できることを提言したい。それによって、水鳥目撃情報やゴミ拾いの成果は、曖昧な印象から集積可能なデータへと価値が高まる。地図という形あるものを作れば、センターの財産として残る。

また、白神山地や屋久島などの参加者から、様々なフィールド裏話を伺った。特に慶左次や億首川など、県内の他のマングローブ地域の話聞くことができた。研修後、ある人から「研修メンバー同士でフィールド調査や研修会などやっていきたい」というメールを頂いた。こうしたつながりも大切にしたい。



自然情報でんごん板



みんなの
気になる
おみ
い



漫湖で見つけたものを
みんなに教えよう！セン
ターの2階に展示中！！



漫湖水鳥かわら版20 ～渡り鳥真っ盛り！1月～

	羽数	先月と の比較
ダイサギ	6	↓
チュウサギ	2	↓
コサギ	8	↑
アオサギ	24	↑
クロツラヘラサギ	1	↓
オナガガモ	23	↑
カルガモ	5	↑
ハシビロガモ	3	↑
ミサゴ	2	↓
ハヤブサ	1	↑
バン	2	↓
シロチドリ	73	↑
メダイチドリ	18	↑
ムナグロ	203	↑
タシギ	7	↑
ダイゼン	25	↑
トウネン	3	↓
ヒバリシギ	4	↑
ハマシギ	6	↓
アカアシシギ	54	↑
アオアシシギ	55	↑
コアオアシシギ	5	↓
キアシシギ	3	↓
イソシギ	11	↓
オオソリハシシギ	3	↑
ダイシャクシギ	13	↓
チュウシャクシギ	7	↑
ソリハシセイタカシギ	1	↑
ズグロカモメ	1	↓
ユリカモメ	1	↑
合計	569	↑



ソリハシセイタカシギがやって来ました！細くて反り上がった口ばしが何とも言えません

少しわかりにくい写真ですが・・・センターの裏でミドリガメが4匹土の中にいました。繁殖でしょうか？冬眠でしょうか？漫湖には外来種がいっぱい！絶対家で飼っているかめや魚を逃がさないでね！



漫湖の岸を歩くと、マングローブの胎生種子を採ることができます。家で育てることもできますよ。

<つれづれなるままに・・・管理日誌より>

- 1月5日 玄関のしめ縄のみかんをヒヨドリ君がおいしい！おいしい！と食べていた。寒いからかな？
- 1月6日 ソリハシセイタカシギ登場！天使のよう！
- 1月8日 ユリカモメが久しぶりに来た。今年はカモメが少ないなあ。
- 1月12日 アオサギの新年会が始まる。(とても数が多い)
- 1月16日 サキシマスオウのみをちょっと食べてみた。渋く食べるものではない。やめた方がよかった。

1月の最大個体数
先月の個体数との比較
↑増加 ↓減少 →同じ

ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ

総入館者数

16,036 人



○利用団体1月○

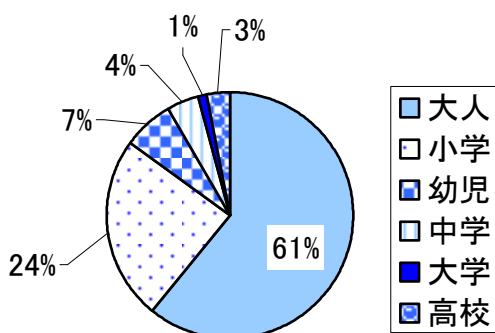
保育園・幼稚園
小禄幼稚園
中学・高校
美里高校
美里高校
西崎中学校
仲井真中学校
仲井真中学校
陽明高校
岐阜県立工業高校
大学
琉球大学
その他
クラブツーリズム沖縄(4回)
(財)ウェブ
長崎県佐世保市議会
沖縄市東部海浜リゾート開発推進協議会
具志川市上原川公民館
具志川市東中校区地区公民館
友歩会

1月の入館者数

1,023 人

(うち団体 417 人)

年代別入館者数(人)



市町村別入館者数(人)

	市町村	人数
1	那覇市	447
2	県外	254
3	具志川市	89
4	沖縄市	67
5	豊見城市	57

1月は中部の具志川市と沖縄市の団体が多く来館しました。

編集後記

1月は研修で各地に出かけました。久しぶりに見る大きな山と雪景色に感激!そして、冬でも緑あふれる我が沖縄は、やはり特別なところなんだなあと、しみじみ思いました。渡り鳥たちもそう感じているのかな?



米谷 保彦

センターのスタンプです
よろしくね!



< 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会(環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市) >

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始(12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: [http:// www.geocities.jp/manko_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)